

令和 元 年度

市政世論調査概要

第 7 3 集

和 歌 山 市

はじめに

まちなかへの相次ぐ大学の開校、市駅ビルをはじめとした再開発、産業の振興など未来の成長を支えるためにこれまでやってきたことが、芽を出し始めています。この成長に弾みをつけるとともに、福祉などの充実に力を入れていきます。

今春、県都としての玄関口である南海和歌山市駅が生まれ変わります。飲食店などの店舗が入る商業ゾーンは、にぎわいの場になります。そこに隣接する新市民図書館は、読書スペースに加えてミニトレインの走る屋上庭園や子育て親子のつどいの場など、多くの市民の方に気軽に立ち寄っていただける施設となっています。子供、学生、子育て世代から高齢者まであらゆる方々の新しい居場所になるとともに、本を身近に感じられる多世代間の交流や賑わいの拠点としての新たな可能性に心躍ります。

また、「子ども・子育て支援新制度」が本格施行されて5年になり、和歌山市でも1月6日から新しいこども総合支援センターをオープンさせ、保健センターなど関係部局や関係機関の連携の要となる、子ども家庭総合支援拠点を設けました。安定した雇用を生み出す産業が元気なまち、住みたいと選ばれる魅力があふれるまち、子供たちがいきいきと育つまち、誰もが安心して住み続けられる持続可能なまちを目指し、新たな気持ちで臨んで参ります。

この冊子は、アンケート調査で得られた貴重なご意見を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映することを目的とした貴重な資料であります。

ここに、令和元年度市政世論調査概要（第73集）を取りまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民のみなさまに厚くお礼申し上げます。

令和2年3月

和歌山市長 尾花正啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

和歌山市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の方法	5
4. 集計区分	6
5. 回答者の属性	7
6. 回答者の家族環境	11
II. 調査の結果	15
1. 和歌山市のまち・ひと・しごと創生について	15
2. 自殺対策について	36
3. 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭について	42
4. 家庭教育支援について	52
5. 歴史まちづくりについて	59
6. 災害対策について	64
7. 防犯対策について	101
8. 在宅医療について	106
9. 健康について	114
10. スポーツについて	132
11. やってみたいスポーツや施設について	139
12. あなたの身の回りの状況やお考えについて	143
13. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について	145
14. 和歌山市の市政について（自由意見）	170
III. 調査票	175

※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「925」となっています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。